

町内遺跡 20

— 平成31(令和元)年度 埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 —

2021

群馬県吾妻郡長野原町教育委員会

町内遺跡 20

—平成31(令和元)年度 埋蔵文化財緊急発掘調査報告書—

2021

群馬県吾妻郡長野原町教育委員会

例 言

1. 本書は平成31（令和元）年度に長野原町が各種開発事業に対応して実施した、町内遺跡緊急発掘調査の報告書である。
2. 本書は令和2年度国宝重要文化財整備事業補助金で作成した。
3. 本書に掲載した4地点は平成31（令和元）年度国宝重要文化財整備事業補助金で実施した。
4. 調査は長野原町教育委員会直営で実施した。

調査主体 長野原町教育委員会

調査組織	教 育 長	市村隆宏
	教 育 課 長	佐藤 忍
	文化財保護対策室長	富田孝彦（文化財係長兼務）
	文 化 財 係	田中秀行（学校給食係兼務 令和2年4月1日～） 高田靖之（子ども子育て支援室兼務） 高橋人夢（調査担当 令和2年4月1日～） 細川剛史（地域おこし協力隊 ～令和元年6月30日） 古澤勝幸（文化財専門員 令和2年4月1日～）
調査参加者		柿本六美・坂井春栄・向出治恵・藤野麻子

5. 各遺跡の所在地は本文中に記した。
6. 本書中の遺跡名は調査が数次にわたっている場合はそれぞれを識別するために遺跡名の最後にローマ数字を表記してある。同一遺跡内の別地点と解釈していただきたい。

例) 観奈遺跡 II

(遺跡名) (第2次)

7. 本書作成にあたっての作業分担は以下の通りである。

編集・執筆：富田、高橋 遺構写真撮影：富田、細川、藤野

図版作成：富田、向出、藤野

8. 調査において以下の項目を委託した。

表土掘削・埋め戻し：東光建設株式会社

測 量：株式会社 測 研

9. 本発掘調査における出土遺物ならびに図面・写真は長野原町教育委員会で保管している。
10. 発掘調査、整理調査及び報告書作成にあたり、次の方々・団体から御指導・御協力を賜った（五十音別敬称略）。

石田秀雄・大日方一郎・金子幸弥・小林秀幸・谷口康浩・宮崎徹・宮崎結花・村上章義・株式会社歴史の杜・群馬県地域創生部文化財保護課・群馬県教育委員会・群馬県土地改良連合会・群馬県八ッ場ダム水源地域対策事務所・公益財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団・株式会社キャッツ・株式会社たむら・株式会社ヒューマンリンク・ソフトバンク株式会社・長野原町役場（建設課・産業課・ダム対策課）

凡例

1. 本書で使用した地図は1：2500「長野原町都市計画図」（長野原町1994）、1：25000「長野原」・「大前」である。
2. 挿図の方位は磁北を示す。
3. 挿図中の土層図のレベルは各遺跡とも、現地表面レベルを基に任意で設定している。
4. 挿図中の縮尺については、各挿図中に示してある。
5. 堆積土層の色調については、「新版標準土色帖1995年後期版」（編・著小山正忠・竹原秀雄、監修農林水産省農林水産技術会議事務局、色票監修財団法人日本色彩研究所）の色名を参考にした。
6. 挿図中のスクリントーン・記号は以下の通りである。

遺構・土層図



遺物



目次

例言

凡例

各遺跡の位置図	1
第1章 平成31（令和元）年度長野原町内遺跡の概要	2
第2章 試掘確認調査	4
A. 包蔵地内	4
1. 観奈遺跡Ⅱ	4
2. 洞口遺跡	6
B. 包蔵地外	9
3. 北軽井沢字新鎌	9
4. 北軽井沢字ハイロン	11
写真図版	
報告書抄録	

挿 図 目 次

第 1 図 各遺跡の位置図 (1/100,000)	1	第 8 図 洞口遺跡出土遺物実測図 (1/4・1/3)	8
第 2 図 調査地点位置図 (1/5,000)	4	第 9 図 調査地点位置図 (1/5,000)	9
第 3 図 トレンチ配置図 (1/300)・土層図 (1/20)	5	第 10 図 トレンチ配置図 (1/200)・土層図 (1/20)	10
第 4 図 観奈遺跡Ⅱ出土遺物実測図 (1/3)	6	第 11 図 調査地点位置図 (1/5,000)	11
第 5 図 調査地点位置図 (1/5,000)	6	第 12 図 トレンチ配置図 (1/200)・土層図 (1/20)	12
第 6 図 トレンチ配置図 (1/600)	7	第 13 図 トレンチ配置図 (1/200)・土層図 (1/20)	13
第 7 図 土層図 (1/20)	7		

表 目 次

第 1 表 平成 31 (令和元) 年度埋蔵文化財調査一覧	2	第 3 表 洞口遺跡出土遺物観察表	8
第 2 表 観奈遺跡Ⅱ出土遺物観察表	6		

図 版 目 次

【観奈遺跡Ⅱ】

- 図版 1 1. 観奈遺跡Ⅱ① (東上から)
2. 観奈遺跡Ⅱ② (北東から)
- 図版 2 1. 1トレ (東から)
2. 1トレ土層 (南から)
3. 2トレ (東から)
4. 2トレ土層 (南から)
5. 3トレ (東から)
6. 3トレ土層 (南から)
7. 4トレ (東から)
8. 4トレ土層 (南から)

【観奈遺跡Ⅱ・洞口遺跡】

- 図版 3 1. 5トレ (東から)
2. 5トレ土層 (南から)
3. 6トレ (東から)
4. 6トレ土層 (南から)
5. 洞口遺跡 (北東から)

【洞口遺跡】

- 図版 4 1. 1トレ (西から)
2. 1トレ土層 (北から)
3. 1トレ集石土坑 (南から)
4. 1トレ集石土坑炭化材 (南から)
5. 2トレ (西から)
6. 2トレ土層 (北から)
7. 3トレ (西から)
8. 3トレ土層 (北から)

【観奈遺跡Ⅱ・洞口遺跡】

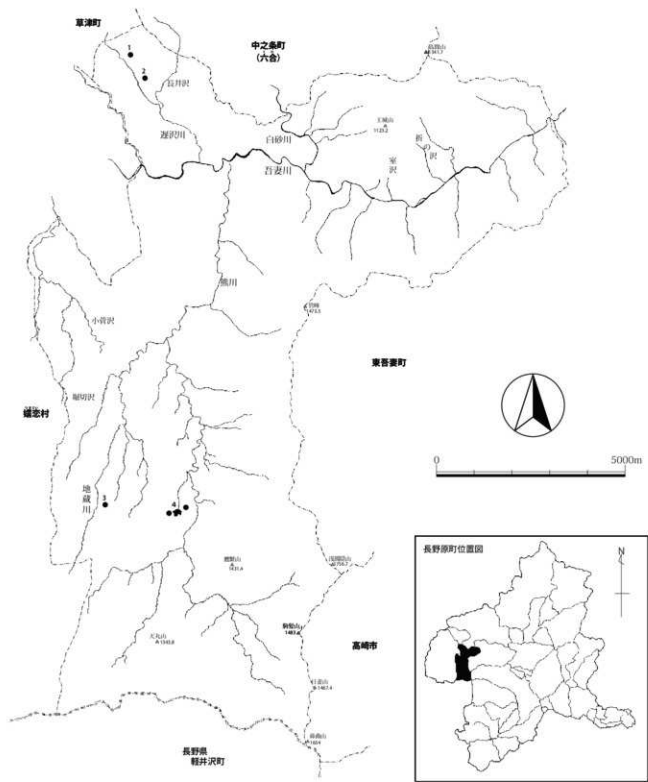
- 図版 5 1. 観奈遺跡Ⅱ出土遺物
2. 洞口遺跡出土遺物

【北軽井沢字新鎌】

- 図版 6 1. 北軽井沢字新鎌 (北西から)
2. トレンチ土層 (北から)
3. 掘削状況 (北西から)
4. 調査前状況 (西から)
5. 埋め戻し状況 (東から)

【北軽井沢字ハイロン】

- 図版 7 1. 第 1 調査地点 (北東から)
2. 1トレ (東から)
3. 1トレ土層 1 (北から)
4. 1トレ土層 2 (北から)
5. 1トレ掘り込み (北から)
- 図版 8 1. 2トレ (東から)
2. 2トレ土層 1 (北から)
3. 2トレ土層 2 (北から)
4. 調査風景 (東から)
5. 第 2 調査地点全景 (西から)
- 図版 9 1. 調査区全景 (東から)
2. 1トレ土層① (北から)
3. 1トレ土層② (北から)



1. 観奈遺跡II 2. 河口遺跡 3. 北軽井沢字新鎌 4. 北軽井沢字ハイロン

第1図 各遺跡の位置図 (1/100,000)

第1章 平成31(令和元)年度長野原町内遺跡の概要

浅間山の北東麓に位置する長野原町では、令和2年12月現在で226の包蔵地（指定文化財を含む）が把握されている。この地域内において開発行為が計画された場合、事業主体者と町教育委員会文化財保護対策室との間で埋蔵文化財に関する取り扱いの協議を行い、試掘確認調査を実施している。それによって明確な遺構・遺物が検出された場合、工事計画変更の協力をお願いをして現状で保存するか、やむを得ない場合は遺跡の破壊を前提とした記録保存（発掘調査）を行っている。

平成31（令和元）年度の長野原町における埋蔵文化財調査は10件であった（第1表）。その内訳は本調査3遺跡、包蔵地内の確認調査2遺跡、包蔵地外の試掘調査2地点、届出2地点である。これらには國學院大学考古学研究室による学術調査（第1表7）と水源地域対策特別法（以下、水特法）の対象事業2件（第1表3・4）が含まれている。本書では学術調査の居家以岩陰遺跡群と、本調査を実施した町営団地整備事業・横壁地区農業経営近代化施設整備事業関係、調査済地の2件、赤羽根遺跡を除いた4件の概要を報告する。

第1表 平成31(令和元)年度埋蔵文化財調査一覧

No.	本書No.	遺跡名	所在地	原 因 類	調査面積	調査期間	備 考
1	—	赤羽根遺跡	大津字赤羽根 1388-42 外 9 筆	太陽光発電所 本調査	9,454㎡	H31年4月1日～ R1年7月19日	縄文前期～中期土坑、平安 安居居・鍛冶工房・陋し 穴など 発掘届（93-1）
2	3	北軽井沢字 新鎌	北軽井沢字新 鎌 1987-873	個人専用住宅 試掘調査	18㎡	H31年4月8日	遺構・遺物なし
3	—	林中原Ⅰ遺 跡Ⅷ	林字中原 956-1	町営団地整備事業 本調査	370㎡	R1年5月15日～ 10月17日	縄文後期土坑 発掘届（94-1） 水特法
4	—	山根Ⅲ遺跡 Ⅳ	横壁字山根 353-2	横壁地区農業経営近 代化施設整備事業本 調査	700㎡	R1年6月21日～ 7月11日	縄文土坑、平安陋し穴 発掘届（94-1） 水特法
5	—	上原Ⅱ遺跡	林字上原 2046	営農型太陽光発電所 届出	—㎡	R1年7月25日	発掘届（93-1）
6	—	西久保Ⅰ遺 跡	横壁字西久保 67-14	営農型太陽光発電所 届出	—㎡	R1年8月30日	発掘届（93-1）
7	—	居家以岩 陰遺跡群Ⅰ 号岩陰	長野原字居 家以 875、丙 877	学術調査	30㎡	R1年8月22日～ 9月18日	縄文土器・石器・人骨・ 獣骨等出土 発掘届（92）

No	本書 No	遺跡名	所在地	原因 種類	調査 面積	調査期間	備考
8	1	観奈遺跡Ⅱ	大津字観奈 1280-1	太陽光発電所 確認調査	129㎡	R1年12月11日 ～12月16日	遺構なし 発掘届(93-1)
9	2	洞口遺跡	大津字洞口 998	太陽光発電所 確認調査	60㎡	R1年12月12日・ 12月13日	縄文前期集石土坑 発掘届(93-1) 保存協定
10	4	北軽井沢字 ハイロン	北軽井沢字ハ イロン 1353-522, 1353-1122	太陽光発電所 確認調査	124㎡	R2年3月19日・ 3月23日	遺構・遺物なし

第2章 試掘確認調査

A. 包蔵地内

1. 観奈遺跡Ⅱ



所在地	長野原町大字大津字観奈 1280-1
開発事業名	太陽光発電所建設
調査期間	令和元年 12月 11日～12月 16日
開発総面積	1,462㎡
調査面積	129㎡

第2図 調査地点位置図 (1/5,000)

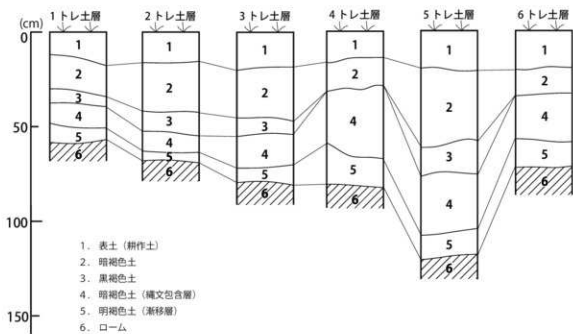
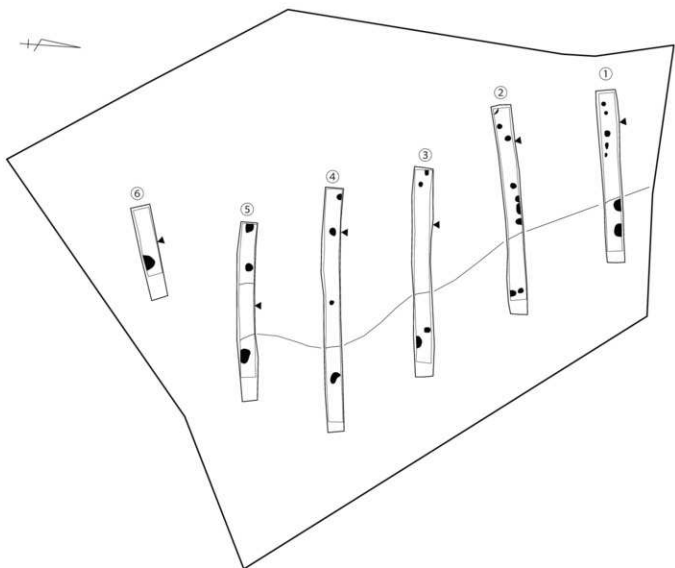
立地と経過

対象地は長野原町の北部、吾妻川流域地帯に属し、吾妻川の支流遅沢川の左岸段丘上に位置する。標高は843m位である。対象地が周知の包蔵地「観奈遺跡 (No. 105)」の範囲内であることから開発事業主と協議し、確認調査を行うこととなった。

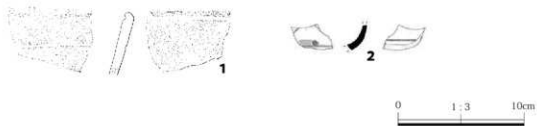
調査結果

太陽光発電所建設予定箇所に6本の試掘坑(トレンチ)を設定し、土層の堆積状況と遺構の有無を確認した。その結果、各トレンチで掘り込みが検出されたが、遺構と断定するには至らなかった。また北西から南東へトレンチを横切る溝跡が確認され、大津用水の前身(時期不明)と考えられた。遺物に関しては2・3・4トレンチで縄文土器片(縄文後期前葉か)、近世以降の陶磁器片が出土した。現地表面から地山(関東ローム層)までは60cm～120cmを測り、北西から南東に向かって緩やかに傾斜する地形を呈している。

対象地の南側隣接地では平成29年度に町道拡幅に伴う発掘調査が実施され、縄文中期前半の土坑8基が検出されていることから当該期の住居跡も視野に入れていたが、前述したとおり、遺物は出土したものの、明確な遺構は確認されなかったため太陽光発電所建設工事に文化財的には支障ないと判断された。



第3図 トレンチ配置図 (1/300)・土層図 (1/20)



第4図 観奈遺跡II出土物実測図 (1/3)

第2表 観奈遺跡II出土物観察表

発見 No.	図面 No.	材 種	寸 法 (長さ/口径/直径) (cm)	特 徴 (形状・手法等)	保 存	出土・付属等	色 調 (外面/内面)	備 考
4-1	5	縄文土器 深鉢	(5.0) / - / -	外面は横位ナ字後斜位ミガキ。一本の横位比喩から著下沈溺あり。内面は横位ナ字後斜位ミガキ。	良好	角閃石・長石・白色粒	黒・赤褐色	鏡片資料 (口縁部)
4-2	5	磁器・黄	(2.0) / - / -	瀬戸瓦器系染付碗。	良好	磁器土	灰白	鏡片資料

2. 洞口遺跡

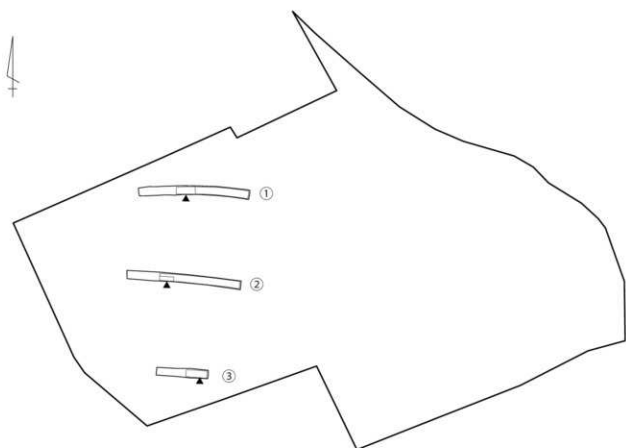


所在地 長野原町大字大津字洞口 998
 開発事業名 太陽光発電所
 調査期間 令和元年 12月 11・12日
 開発総面積 3,634㎡
 調査面積 60㎡

第5図 調査地点位置図 (1/5,000)

立地と経過

対象地は長野原町の北部、吾妻川流域地帯に属し、吾妻川の支流遅沢川の左岸段丘上に位置する。標高は 830 m 位である。対象地が周知の包蔵地「洞口遺跡 (No. 104)」の範囲内であることから開発事業主と協議し、確認調査を行うこととなった。



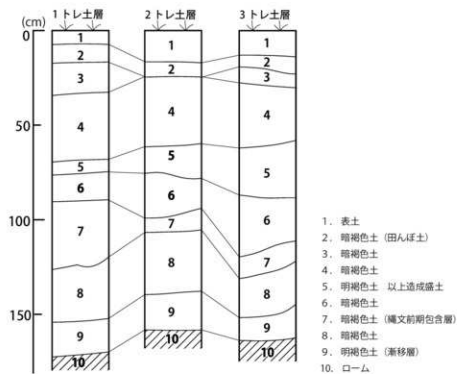
第6図 トレンチ配置図 (1/600)

調査結果

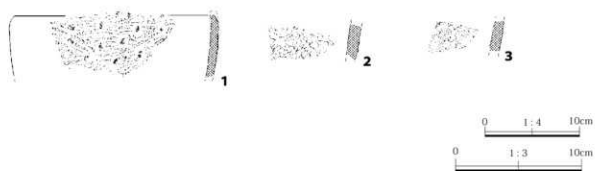
太陽光発電所建設予定地内に試掘坑（トレンチ）を3本設定し、土層の堆積状況や遺構の有無を確認した。その結果、2・3トレでは遺構・遺物の検出はなかったが、1トレで縄文時代前期前葉の集石土坑が検出された。この土坑は1トレ周辺にある程度の広がりを持っており、穴を掘って火を焼き、河原石を焙ってその上で調理した痕跡と考えられる。焼石の下には炭化材が確認された。現表土からの深さは約90cmを測る。

対象地は昭和35年から昭和41年まで実施された土地改良事業により、旧地形が大きく改変されており、地山（関東ローム層）の確認には深掘りをしないと判明しなかった。現地表面から地山までは160cm～210cmと深く、盛土が施されていた。このことから対象地周辺には縄文時代の集落跡が遺されている可能性が高いと想定された。

前述したとおり、1トレで縄文時代前期前半の集石土坑が現表土下約90cmで検出された。設計のスクリー杭が160cmあり、平均120～140cmは打ち込む計画だったことから工法も含めた計画変更の協議をした。



第7図 土層図 (1/20)



第8図 洞口遺跡出土遺物実測図 (1/4 · 1/3)

第3表 洞口遺跡出土遺物観察表

検出 No.	記録 No.	器 種	位置 (高さ/口徑/直径) (cm)	特徴 (形状・手法等)	現 成	胎土・材料等	色 澤 (外面/内面)	備 考
8-1	5	縄文土器	(7.0) / - / -	外面は口料部に小突起部付。外面は沈殿土と瘤状突起を刷付し、3本～6本のキヤミ文をつける。LR縄文。内面は横位ミガキ。	良好	縄縞・長石・角閃石	黒褐色/に赤・黄褐色	口縁部 20% 残存
8-2	5	縄文土器	(2.8) / - / -	外面はLR縄文。内面は横位ミガキ。	良好	縄縞・角閃石	黒褐色/に赤・黄褐色	破片資料 (体部)
8-3	5	縄文土器	(2.3) / - / -	外面はLR縄文。内面は横位ミガキ。	良好	石英・白色胎	黒/に赤・黄褐色	破片資料 (体部)

B. 包蔵地外

3. 北軽井沢字新鎌



所在地	長野原町大字北軽井沢字新鎌 1987-873
開発事業名	個人専用住宅
調査期間	平成 31 年 4 月 8 日
開発総面積	420㎡
調査面積	18㎡

第 9 図 調査地点位置図 (1/5,000)

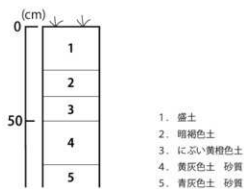
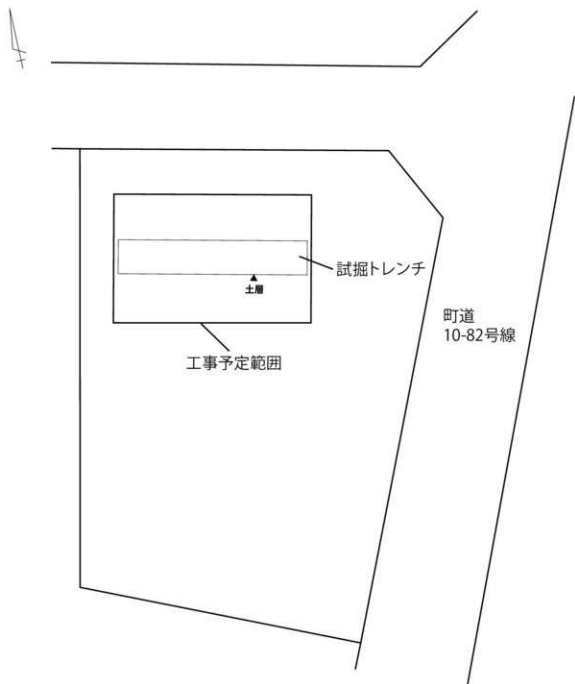
立地と経過

対象地は長野原町の南部、浅間高原地帯に属し、浅間山に位置する。標高は 1,087 m 位である。対象地は周知の包蔵地ではないが、周囲に包蔵地が点在していることから開発事業主と協議し、確認調査を行うこととなった。

調査結果

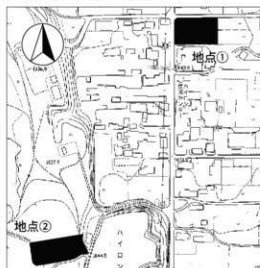
個人住宅建築予定地内に 1 本の試掘坑（トレンチ）を設定し、土層の堆積状況と遺構の有無を確認した。その結果、住宅建築で影響のある深さまでに遺構となる掘り込みは確認されなかったため、建築工事に際して文化財保護的に支障は無いと判断された。

堆積土層は南壁で確認し、1. 盛土:(23cm 厚)、2. 暗褐色土:(14cm 厚)、3. にぶい黄橙色土:(13cm 厚)、4. 砂質黄灰色土:(23cm 厚)、5. 砂質青灰色土:(現地表から 73cm ~) の 5 層に分層された。3 層以下は浅間山噴火による堆積層で砂礫層も確認された。



第10図 トレンチ配置図 (1/200)・土層図 (1/20)

きたがるいであび 4. 北軽井沢字ハイロン



第 11 図 調査地点位置図 (1/5,000)

所在地	地点① 長野原町大字北軽井沢 字ハイロン 1353-522
	地点② 長野原町大字北軽井沢 字ハイロン 1353-1122
開発事業名	太陽光発電所建設
調査期間	令和2年3月19・23日
開発総面積	1,766㎡
調査面積	124㎡

立地と経過

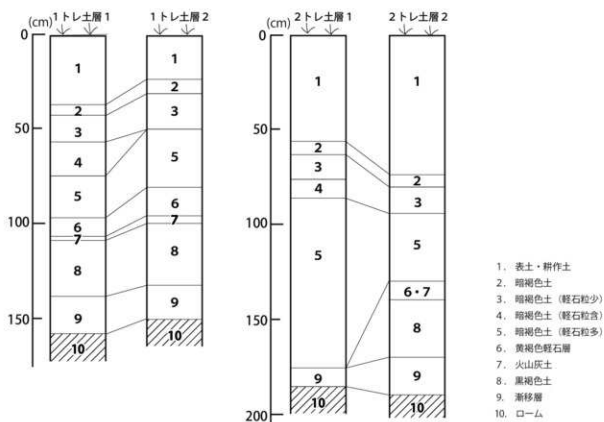
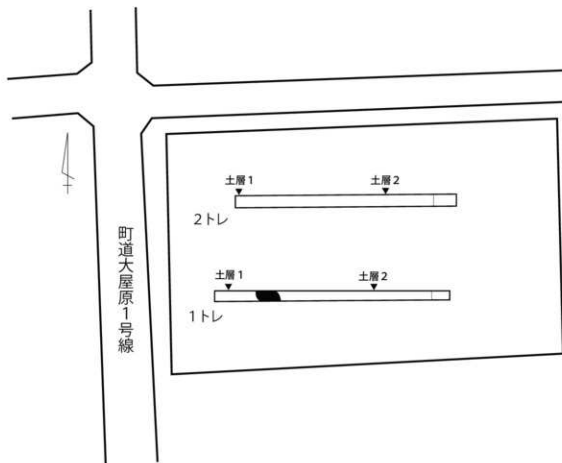
対象地は長野原町の南部、浅間高原地帯に属し、浅間山に位置する。標高は1,046 m位である。対象地は周知の包蔵地ではないが、周囲に包蔵地が点在していることから開発事業主と協議し、確認調査を行うこととなった。

調査結果

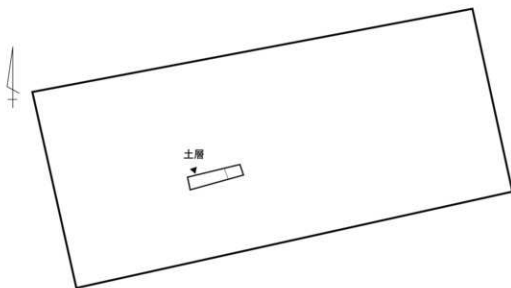
太陽光発電所建設予定地内に試掘坑（トレンチ）を設定し、土層の堆積状況や遺構の有無を確認した。地点①は2本、地点②は湿地帯のため1本の設定に留った。

その結果、地点①の1トレンチで掘り込みが検出されたが、遺構と断定するには至らなかった。1・2トレンチともに遺物の出土はなかった。地点②は湿地帯で遺構・遺物ともに確認されなかった。従って2地点とも太陽光発電所建設に際し、文化的には支障はないと判断した。

地点①は現地表面から150cm～190cmで地山（関東ローム層）、平安時代の天仁元（1108）年に降灰した軽石層（第6層）が15cm厚で確認された。地点②は、トレンチの掘削中に湧水が見られ、湿地帯特有の青灰色シルト層と砂層の互層が形成され、水成堆積していたことが判明した。シルト層にはそこに生えていた植物がそのまま遺存していた。



第12図 トレンチ配置図 (1/200)・土層図 (1/20)



第 13 図 トレンチ配置図 (1/200) ・土層図 (1/20)

写 真 图 版



1. 観奈遺跡Ⅱ①（東上から）



2. 観奈遺跡Ⅱ②（北東から）



1. 1トレ (東から)



2. 1トレ土層 (南から)



3. 2トレ (東から)



4. 2トレ土層 (南から)



5. 3トレ (東から)



6. 3トレ土層 (南から)



7. 4トレ (東から)



8. 4トレ土層 (南から)



1. 5トレ（東から）



2. 5トレ土層（南から）



3. 6トレ（東から）



4. 6トレ土層（南から）



5. 洞口遺跡（北東から）



1. 1トレ (西から)



2. 1トレ土層 (北から)



3. 1トレ集石土坑 (南から)



4. 1トレ集石土坑炭化材 (南から)



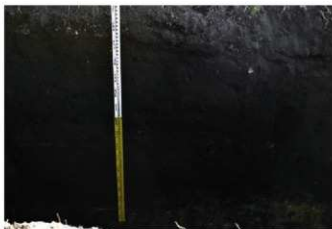
5. 2トレ (西から)



6. 2トレ土層 (北から)



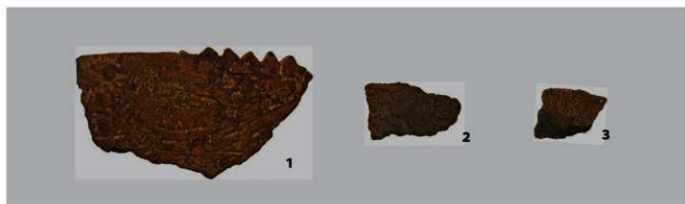
7. 3トレ (西から)



8. 3トレ土層 (北から)



1. 観奈遺跡Ⅱ出土遺物



2. 洞口遺跡出土遺物



1. 北軽井沢字新鎌 (北西から)



2. トレンチ土層 (北から)



3. 掘削状況 (北西から)



4. 調査前状況 (西から)



5. 埋め戻し状況 (東から)



1. 第1調査地点（北東から）



2. 1トレ（東から）



3. 1トレ土層1（北から）



4. 1トレ土層2（北から）



5. 1トレ掘り込み（北から）



1. 2トレ (東から)



2. 2トレ土層1 (北から)



3. 2トレ土層2 (北から)



4. 調査風景 (東から)



5. 第2調査地点全景 (西から)



1. 調査区全景 (東から)



2. 1トレ土層① (北から)



3. 1トレ土層② (北から)

報告書抄録

ふりがな	ちょうないいせき にじゅう
書名	町内遺跡 20
副書名	平成31(令和元)年度 埋蔵文化財緊急発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	長野原町埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第46集
編著者名	富田孝彦・高橋人夢
編集機関	長野原町教育委員会
所在地	〒377-1392 群馬県吾妻郡長野原町大字長野原1340-1 TEL0279-82-4517/FAX0279-82-3115
発行年月日	西暦 2021年2月26日

所収遺跡名	所在地	市町村コード 遺跡番号	北緯 (世界測地系) 東経 (世界測地系)	調査期間	調査面積		調査原因	発見遺構	
					開発面積			保護措置	
観奈遺跡Ⅱ	長野原町大字大津字観奈 1280-1	10424	363415	191211～ 191216	129㎡	太陽光発電所建設	集落跡 記録保存		
		105	1383541		1,462㎡				
洞口遺跡	長野原町大字大津字洞口 998	10424	363425	191212～ 191213	60㎡	太陽光発電所建設	土坑 現状保存		
		104	1383532		3634㎡				
北軽井沢字新鎌	長野原町大字北軽井沢字 新鎌 1987-873	10424	362874	190408	18㎡	個人専用住宅	—	遺構なし	
		—	1383519		420㎡				
北軽井沢字ハイロン	長野原町大字北軽井沢字 ハイロン 1353-522, 長野原町大字北軽井沢字 ハイロン 1353-1122	10424	362828, 362820	200319・ 200323	124㎡	太陽光発電所建設	—	遺構なし	
		—	1383612, 1383660		1,766㎡				

町内遺跡 20

— 平成31(令和元)年度 埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 —

令和3年2月22日 印刷

令和3年2月26日 発行

発行 群馬県吾妻郡長野原町教育委員会

〒377-1392 群馬県吾妻郡長野原町大字長野原1340-1

TEL 0279 (82) 4517 FAX 0279 (82) 3115

印刷 朝日印刷工業株式会社